

2023年6月2日(金) 第2922回例会 形式:対面 天候:雨
合唱:君が代、それでこそロータリー、四つのテスト

会長 青木 義美 幹事 室伏 学

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

青木 義美

今日は「AI」についてお話ししようと思います。

AI、つまり「アーティフィシャル インテリジェンス」人工知能です。

このAIによって、にせ動画、にせメール、挙句のはてがチャットGPTと言

ってこの人工知能と会話出来るそうです。会話どころか人生相談までしてしまうそうです。もちろんたくさんの一般常識のデータを持っているのであながし間違いではないのでしょうが、基本的には個性というものは当然ないと思います。ただ怖いのは人工的にフェイク動画を作って、例えばあなたの家族がこんな交通事故にあいましたなんて動画も作る事も可能になってきます。メールにしても、私のところへはほぼ毎日アマゾンの口座が凍結されたから至急口座を新しく登録して下さいとか、なんとか銀行からのメールやズームだって動画を作る事も可能な時代ですから、そりゃ一体どんな事になってしまうやらです。ロータリーの例会もやはり基本はリアルでないと情報交換も限度がありますし、ズーム先がほんとにメンバーなのかわからなくなるのではないのでしょうか。我々古い人間には AI時代なんて来てもらいたくない毎日です。

幹事報告

国際ロータリー日本事務局より

1.6月のロータリーレート 1ドル140円

連絡事項

1.7月7日に予定していた新旧会長・幹事歓送迎会は、都合により翌週7月14日に変更いたします。

スマイルボックス

会員誕生日 望月博文君(11/13)

会員誕生日 渡辺久恭君(1/31)

会員誕生日 青木義美君(2/19)

結婚記念日 青木義美君(11/8)

入会記念日 青木義美君(3年・R2.6.5)

柴崎正三君(第9グループガバナー補佐・小田原北 RC)

本日は新旧AG交代のあいさつに伺いました。どうぞ宜しくお願い

願致します。一年、本当にありがとうございました。

井上勝典君(第9グループガバナー補佐エレクト・足柄 RC)
次年度ガバナー補佐として貴クラブを訪問させて頂きました。一年間宜しくお願致します。また佐藤エレクト、櫻井幹事改めて次年度宜しくお願致します。

伊藤伸之君

柴崎ガバナー補佐1年間御指導頂きありがとうございました。井上次年度ガバナー補佐これからも御指導宜しくお願致します。

西山敦君

5月27日、御箸まつり、湯かけまつりが盛大に催されました。

葉維英君

一昨日に上海から18名の友人が湯河原に来られました。水の香里旅館に泊まりました。夕食を一緒に楽しく飲みました。湯河原はとていい所と言って頂きまして旅館のサービスも満足したようです。よかったです。

出席報告

ゲスト 0名 ビジター 2名

会員 23名 欠席7名(免除者4名)

出席率 78.95%

前回の修正出席率 85.71%

前々回の修正出席率 89.47%

事前メイクアップ 0名



新年度・次年度ガバナー補佐・会長・幹事集合写真

(左から佐藤会長 E、井上 AGE、柴崎 AG、青木会長、室伏幹事)

皆様こんにちは。今回は以前から務めておりますクラブ会報委員会(週報)、並びに facebook、そして出向しております地区ホームページ委員会で取り組んでいる地区ホームページについてご報告、ご紹介いたします。

1. 湯河原ロータリークラブ週報

私は2020-21年度より「クラブ会報委員会」に着任し、週報担当の皆様と週報の作成に取り組んで参りました。今回はせっかくの機会ですので、この数年に起こりました変遷も含めてお話しいたします。

着任当時の週報は、簡単に説明しますと「会報委員会がイニシアティブをとれない状態」となっておりました。これは会報制作ノウハウの共有や継承において芳しいことではないため、当時の会長、会長エレクトへの相談を経て、本来の形である「会報委員会主導の週報制作」の模索を始めました。

とはいえ行ったことはいたずらに週報を刷新することではなく、湯河原RCが培ってきた週報の伝統を見つめ直すことでした。そこで歴代会長への聞き取りや地区内の他RCの週報発行状況を調査し、以下のような「湯河原RC週報の伝統」を見出しました。

- ・文章での記述を原則とする
- ・2ページで構成する
- ・紙媒体で発行する
- ・制作は週報担当と会報委員会が担当する

この原則をもとに週報レイアウトの見直しを行い、読みやすさ、編集しやすさ、ロータリーのニュースレターとして相応しい格調や色彩を多分に意識しながら、現在のデザイン、段組に落ち着きました。将来、そのときの会報委員会の考えから、時代に合わせたブラッシュアップを適宜行っていただくとしても、上記に示した伝統は継承していただきたいと願っています。

また週報制作にあたり、月ごとに任命される週報担当の方々の協力は欠かせません。担当される皆様におかれましては、下記項目について引き続きお願いする次第です。

- ・校正
- ・卓話原稿資料の取りまとめ
- ・(可能ならば)卓話原稿を1ページにまとめる

この中で特に行っていただきたいものが「校正」となります。会報委員会でも適宜行っているものですが、同じ人間が行っているとどうしても見落としが生じます。皆様におかれましては、引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2. 湯河原ロータリークラブ facebook ページ

2021-22年度より、私は室伏幹事と共に「湯河原ロータリークラブ facebook ページ」の管理者を務めております。このページは公式のウェブサイトと異なるもので、今のところウェブサイトと連動しているものでもありません。そもそも湯河原ロータリークラブにおいて facebook ページの位置付けや存在意義、方向性については定まっていない部分が多く、活用は長期的な課題と言えます。

しかし facebook の利活用について他ロータリークラブの状況を観察しますと、こまめに活動報告を掲載している例、クラブの垣根を超えた交流を実践している例など、積極的に活用している事例をいくつか見つけることができます。また湯河原ロータリークラブが所属する国際ロータリー第2780地区でも facebook の利用は盛んで、読んでいただけでも楽しめる状況です。ただし湯河原ロータリークラブにはクラブの伝統、矜持、ペースがありますので、活用のための活用を無理に考える必要はないと感じています。将来、利活用に関する妙案が会員の中から湧き出てきたときが、湯河原ロータリークラブ facebook ページの真の船出なのかもしれません。それまでは引き続き室伏幹事と共に、ゲストのご紹介や奉仕活動、地区イベント参加の報告などを掲載していく予定です。

3. RID2780 地区ホームページについて

2022-23年度より、私は地区ホームページ委員会に出向し、地区ホームページのあり方やコンテンツの整理についての議論を重ねて参りました。

今年度は地区ホームページのレイアウトが刷新されたこと、会員ポータルサイトが設置されたこと、クラブ活動報告のコーナーが設置されたことなどを、主に地区内各グループの会長幹事会にて説明させていただきました。特に会員ポータルサイトは、主に地区に出向している会員にとって、委員会の資料や活動スケジュールなどがわかりやすく取得できるようになり、重宝できる存在となっています。今後は地区内すべての会員にとってメリットのあるような内容を用意することや、膨大なコンテンツをより簡単に見つけられるような工夫が求められていくと考えられます。私は次年度も地区ホームページ委員会に残留する見込みですので、クラブ側のニーズや意見を地区に伝えられるように努力して参ります。

皆様におかれましては、今後も週報、facebook、ホームページをご注視いただき、ご意見、ご感想などをいただけますと幸いです。

以上です。ご清聴ありがとうございました。

(文・編集: 櫻井武志(6月会報担当) / クラブ会報委員会)